

リニア山梨県駅と山梨県内の状況

当対策室では、リニア中央新幹線中間駅地域の信用金庫との情報交流を進めておりますが、このほど山梨県を訪問し、甲府信用金庫（本店：甲府市）、山梨信用金庫（本店：同）と情報交換を行いましたので概略を紹介いたします。

1. 山梨県など行政の取り組み

訪れたJR甲府駅前には「甲府駅南口周辺地域修景計画」による土地区画整理事業の工事で忙しい様子だった。これもリニア開通を見据えた事業という。



JR 甲府駅

山梨県は「山梨県リニア駅周辺整備検討委員会」により「リニア駅周辺整備基本方針」をまとめた。本年8月には「リニア環境未来都市検討委員会」を設置し、「『リニア環境未来都市』の創造に向けた整備方針を作成するに当たり、優れた見識を有する者から幅広く意見を聴くため」（同設置要綱）の作業を開始した。検討事項は「①リニア駅周辺の整備に関する事項、②その他必要な事項」（同）となっている。検討の前提として需要予測結果は、①リニア駅乗降客数12,300人/日、うち観光客8,600人/日（うち外国人200人/日）、②企業増加数2,600社、③新たに居住する人口14,600人、と想定している。

リニア山梨県駅は郊外の甲府市大津町に設置される。甲府駅寄りからは約10kmの距離がある。市中心部とのアクセスは、県ではBRT(註)の利用を考えている。甲府駅から南へ向かう平和通りとリニア駅の近くを流れる荒川の右岸堤防道路を利用してバスを運行させるもので、この計画を中心に検討が進んでいる。

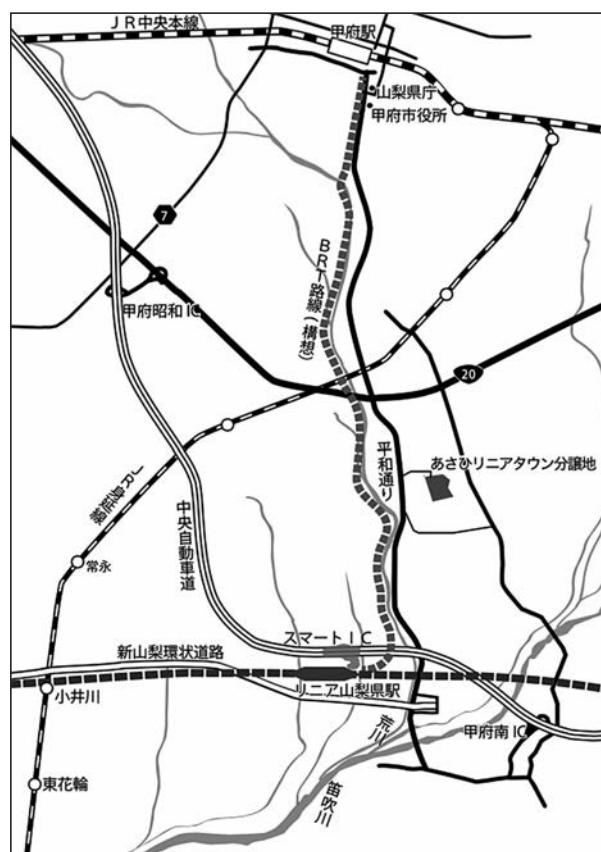
※BRT Bus Rapid Transit の略で、バス専用道路、バスレーン、PTPS（公共交通優先システム）を組み合わせ、定時性、速達性を確保するもの。

JR身延線との結節では、特急停車駅である東花輪駅とのバス輸送によりアクセスを確保するとしているが、身延線の付け替えによる乗換え新駅の設置を模索する向きもあるとのことである。

自動車によるリニア駅との広域アクセスは、リニア駅付近の中央自動車道にスマートインターチェンジが設置される。

リニア新幹線により、東京からの時間距離は現状90分が25分に短縮される。その効果を活かすためには県内各地と山梨県駅との二次交通の整備が重要との認識である。

甲府市およびリニア駅周辺地図



2. リニア開通を見据えた動きでは

リニア駅設置に併せて取り組む地域おこし策として、テーマパーク、アウトレットの誘致、国際展示場などが挙げられているが、最近の構想として、同県出身者の著名漫画家・アニメ製作関係者が多いことから、リニア駅周辺に「漫画・アニメ館」設置のアイデアも出されているという。山梨県の観光は、世界遺産である富士山などをメインとしているが、観光資源としては力不足、との認識から関係者が知恵を出し合っている。

甲府市内では、「あさひリニアタウン」の名称で大規模住宅地開発が進められている。県内の不動産業者により設立されている「山梨県不動産業協同組合」が、170区画の宅地を造成し、ハウスメーカーや傘下の不動産業者に売却した。既に分譲を行っており、同組合のHPには売約済みの表示がされた物件があるのが確認できた。平和通りを走行していくと「あさひリニアタウン」の表示が見られる。現地はリニア駅から車で5分程の場所になる。甲府市は現状でも東京からの通勤圏内といえる距離にあり、今からでもリニア新幹線通勤需要を捉えた販売が可能とも考えられる。



「あさひリニアタウン」の表示



リニア山梨県駅予定地

3. リニア山梨県駅予定地、実験線を見学して

リニア駅予定地と実験線を訪れた。駅予定地は整備された圃場の中であり、駅設置に伴い移転が必要となる民家は見当たらない。笛吹市のリニア実験線では、走行している車両を見ることはできなかったが、何もかもが巨大な構造物。伊那谷に同様の物が現れるとかなりなインパクトになるだろう。

両信用金庫とも「地元での盛り上がりは見られない」としているが、リニア施設やリニア車両の走行を目の当たりにしている当地では、特別な高揚感を持たず淡々と目の前の課題に取り組んでいるのではと思われた。リニアが開業すると名古屋～山梨県間は現状190分（中央東線・西線の特急利用）が40分になることから、「中京、関西方面から当県へ訪れてもらえるのではとの期待が大きい」とのことであった。



八代ふるさと公園展望台（笛吹市）

リニア本線（リニア実験線延伸部分（笛吹市））



（飯田信用金庫 総合企画部 リニア対策室 加藤 修平）